



東日本大震災 生徒の呼びかけで支援の輪を！

新学期が始まり、子どもたちは、少しずつ、学校生活に慣れてきたようです。授業中、先生の話をよく聞き、手を挙げ、熱心に学習している様子を見ることが出来ます。今年度から小学6年生と中学1年生で専科制の授業をスタートしましたが、二人の教科の先生の指導を受けている子どもたちも、真剣な様子で学習を続けています。

又、先生方も、幼稚部では、鉛筆の持ち方を指導、小学1年生では、初めて手にする教科書の開き方や持ち方、音読の仕方を、他の学年ではノートの使い方の約束をというように「学習の基礎」をしっかりとおられました。



(4年生国語の学習風景)

子どもたちの様子を見ていると、学校は学ぶ場があり、友達と遊ぶ場があつて当たり前と実感しますが、東日本大震災による地震・津波の壊滅的な被害そして拡がる放射能汚染は、被災地の子どもたちに深刻で暗い影を落としています。居住場所の不安定に加えて、通っていた学校の廃校や移転、新しい学校への転入、始業式の遅れ、そして今は、屋外での放射線量が基準値を超えた学校では外での遊びや体育活動までもが制限されることにまでなりました。そうした日本からの連日の報道にとても心が痛みます。

先週の1分間スピーチで、5年生の桑野杏那さんが、「宮城県名取市の小学校に応援メッセージを送る」ことを提案し、既に現地校の友達や先生から多くの賛同を得たことを紹介し、今後も補習校の皆さんが、一枚でも多くメッセージを書いてほしいと呼びかけました。生徒会の役員も、義援金活動について、現在話し合いを重ね、本日昼休みに行われる生徒会で支援について具体的に提案し、今後の長期にわたる活動を決めていきます。大震災の復興には、長い時間がかかりますが、海外に暮らしている生徒たちも大人たちも身近に出来る復興支援のアイデアをだしあい、協力しあっていける取り組みをつくりだしていきたいと思ひます。



(教科書配布の作業風景)

来週(4月30日)は定例総会①です。ご参加を！

議案 ①22年度決算、23年度予算案の承認 ②運営委員・PTA 役員の交代と承認、感謝状
③活動計画 ④PTA 決算・予算案の承認 ⑤本年度の教育について(校長)

皆様の積極的なご参加をよろしくお願ひします。やむなく、ご欠席の場合は、必ず委任状の提出をお願いします。

運営委員会代表会長 桑野康介